

## 平成25年度 心身障害者一般巡回相談のお知らせ

平成25年度の一般巡回相談実施計画が作成されましたので、近隣（上川・留萌・宗谷管内）の開催地及び日程をお知らせします。

**稚内市：6月5日(水)、11月20日(水)**

**羽幌町：6月4日(火)**

**留萌市：11月19日(火)**

**名寄市：7月2日(火)**

**旭川市：5月14日(火)～15日(水)、7月23日(火)～24日(水)、  
9月10日(火)～11日(水)、12月10日(火)～11日(水)、  
2月25日(火)～26日(水)**

※会場及び時間については未定です。

◇詳しくは、**北海道立心身障害者総合相談所**  
(電話011-613-5401)へお問い合わせください。

## 二月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

寒雀群れる大樹の深眠り

今朝も又詠めよとばかり寒雀

ふくら雀さながらなりし納屋の山羊

巡りくる日の果てなくて寒雀

寒雀いつもおんなじ枝に来て

ふくら雀膨れてこの世倅せか

横山 貞雄

藤岡 芙美

富樫とも子

熊谷千恵子

佐藤 光朗

田中 徹男

## 気象台一口メモ

## さくらの開花



冷たかった風に少しずつ暖かさが感じられるようになり、春の到来を実感できる頃になると、春を代表する季節現象である「さくらの開花」が話題にのびります。

さくらは、夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされたあとに休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと気温の上昇とともに生長し開花します。

気象台では、生物季節観測のひとつとして、さくらの開花・満開日を観測しています。開花日とは標本木の花が5～6輪以上咲いた最初の日のことをいい、満開日とは標本木の花が80%以上咲いた最初の日のことをいいます。

本州などで一般的な品種であるソメイヨシノは稚内では育ちにくいので、稚内地方気象台では稚内公園内のエゾヤマザクラを標本木として観測しています。

一般に桜前線が北へ進む速度は、1日に20km～30km（時速1km前後）と言われています。桜前線は平年ですと、4月下旬には青森付近に到達し、津軽海峡を1週間ほどかけて越え、5月上旬には北海道に上陸し、稚内や釧路でゴールを迎えます。

稚内の平年値（30年間の平均）を見ると、開花が5月14日、満開は3日後の5月17日となっていますが、その年によって遅れや進みがあって、これまでで最も早い開花の記録は4月29日（平成14（2002）年）、最も遅い開花の記録は5月22日（平成22（2010）年）と、およそ1か月もの開きがあります。また、開花から満開までの日数は早い年で2日後、遅い年では10日もかかっています。

気象庁では昭和30年から、毎年、さくらの開花予想を行ってきましたが、民間気象会社が同じような開花予想を行っていることから、平成21年を最後に行わないこととしました。過去に気象庁で用いてきたさくらの開花予想方法を気象庁のホームページ

(<http://www.data.jma.go.jp/sakura/data/cb/sakura.html>)で公開していますので、ご自分の町のサクラの開花日や満開日を予想してみるのも楽しいのではないのでしょうか。

※稚内地方気象台ホームページアドレス  
<http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>  
※問い合わせ先  
稚内地方気象台防災業務課（電話:0162-23-2679）

